

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

「あの人がゆくなら わたしもゆく」と思わせるリーダー 牛尾 治朗 (ウシオ電機会長)

1. 孟子の言葉に「天の時<sup>し</sup>は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」というのがあります。どんな事業を起こす場合でも、まず天の時を知ることが重要です。理屈の上でどんなに条件が整っても、天の時を得た事業でなければ成功を収めることはできません。
2. しかし、いかに天の時を持っても、自分の特質に合った事業でなければ成功を収めることはできません。儲かる商売があるからといって、自分もそこに参入してうまくいくとは限りません。儲かる会社もあれば、失敗する会社も出てくる。そういう様々な条件を見極めることが、地の利を得ることにつながってきます。
3. では、天の時、地の利という条件が整えば、完璧かと言えば、まだ十分ではありません。人の和が不可欠なのです。人の和を得るためには、誰がリーダーを務めるかが重要です。社員に「あの人がゆくなら わたしもゆく」と思わせるリーダーこそが、これからの時代<sup>けんいん</sup>を牽引する和のタイプのリーダーであり、従業員にやり甲斐と幸福感をもたらすものです。

(参考:「致知」2007年3月号)

## 経営者のための経済学

### 商品を創造する

#### アルビン・トフラー (未来学者)

1. 情報改革の先には、必ずや困難な社会的変化が待ち構えています。組織を変えようとすれば、人びとの抵抗もあるし、新しく誕生した勝ち組と負け組みとのあいだの衝突もある。官僚的な仕組みによって立つ日本のような国にとっては、特に厳しい未来が待ち受けていることでしょう。
2. 日本は1960年代、70年代と世界の工業化を索引しましたが、もはや昔日の力はない。ただ、サービスやコンシューマー製品分野での新しい発明には希望がある。商品を製造するのではなく、創造すればいいのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2006年12月30日号)

・2007年1月6日号)

## 海外事情

### 深刻化する水不足

1. 全世界で毎年180万人の子どもが水不足で死亡している。安全な水とトイレがあれば予防できる下痢が原因だ。いま地球上に、水を十分に利用できない人は11億人、衛生設備を持たない人は26億人に上る。一日5リットルにも満たない汚れた水で日々を生き延びている人と、英国や米国のように毎日水洗トイレで50リットルの水を流す人が、同居しているのがこの地球だ。
2. 国連開発計画 (UNDP) の「人間開発報告書2006」では、安定性があり、利用しやすく、手ごろな価格の給水サービスを受ける権利は、人権として認めるべきだと主張、すべての市民に一日20リットル以上の安全な水を利用できるよう訴えている。2025年には30億人超が強い水ストレス下で生活を余儀なくされるといふ。「無言の危機」は、見過ごされ続けている。

(参考:「週刊東洋経済」2006年12月30日号・2007年1月6日号)

## 古典に学ぶ

### 剣の志気

「常に志気をして剣の如くにし、一切の外誘を駆除し、敢えて肚裏<sup>とり</sup>に襲い近づかざらしめば、自ら浄潔快豁<sup>じょうけつがいかつ</sup>なるを覚えん」

(訳) 平常から心を剣の如く鋭くし、誘惑を退ければ自ずときれいさっぱりした気持ちになることに気付く。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)